

モハン日記
アイル-村

CAPCOM

(証券コード 9697)



第32期中間報告書

平成22年4月1日から平成22年9月30日まで

「モハン日記 ぼかぼかアイル-村」
© CAPCOM CO., LTD. 2010 ALL RIGHTS RESERVED.

会社の概要

(平成22年9月30日現在)

社名	株式会社 カプコン (CAPCOM CO., LTD.)
設立	昭和54年5月30日
主要な事業内容	家庭用テレビゲームソフト、モバイルコンテンツおよびアミューズメント機器等の企画、開発、製造、販売ならびにアミューズメント施設の運営
資本金	332億39百万円
従業員数	連結1,924名(単体1,624名)
ホームページ	http://www.capcom.co.jp/

目次

●会社の概要	1
●株主の皆様へ	2
●財務ハイライト	4
●事業の概況	5
●中間連結財務諸表	7
●株式の状況/役員の状況	9
●IR情報	10



辻本 憲三



辻本 春弘

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

ここに当社グループ第32期上半期(平成22年4月1日から平成22年9月30日まで)の事業の概況と中間決算についてご報告申し上げます。

当中間連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費や輸出はおおむね堅調に推移いたしましたものの、長引く円高や株安に加え、雇用情勢の低迷や米国経済の減速懸念などにより、景気は踊り場局面に差し掛かってまいりました。

当業界におきましては、少子高齢化や娯楽の多様化に加え、けん引ソフトの不足などにより事業環境が軟調に推移する中、高機能携帯電話や多機能情報端末等のゲーム専用機以外で利用者が交流しながら楽しめるソーシャルゲームが急成長するなど、新たなうねりが出てまいりました。

こうした状況のもと、当社はこれまで下期に偏重しがちなゲームソフトの販売を平準化させるため、市場環境を勘案しつつ主力タイトルを四半期ごとに投入する戦略転換

を行いました。

また、オンラインゲームや海外向けのゲーム開発に注力するなど、市場動向に対応した事業展開を図ってまいりました。

さらに、収益源の多角化を図るため、株式会社ディー・エヌ・エー運営の「モバゲータウン」への配信を皮切りに、市場規模が大きい海外市場を開拓するため、 아이폰／アイポッド・タッチ向けに全世界で5億人の利用者を有する米国のフェースブックを通じてソーシャルゲーム用ソフトの供給を予定するとともに、書籍、玩具等のゲーム関連商品の販路拡大を図るため、楽天の仮想商店街「楽天市場」に出店いたしました。

一方、当社の看板タイトル「バイオハザード」を題材にしたハリウッド映画「バイオハザードIV アフターライフ」が今秋全世界で同時公開され、知名度の向上やブランド価値の増大など副次的効果をもたらしました。

しかしながら、円相場の高騰や有力ソフト「ロスト プラネット 2」(プレイステーション 3、Xbox 360用)の大幅な計画未達に加え、大型タイトル「デッドライジング2」(プレイステーション 3、Xbox 360用)の発売が遅れたことなどにより、総じて弱含みに展開いたしました。

この結果、当中間連結累計期間の業績は、売上高407億6百万円(前年同期比4.7%増)と増収になりましたが、大型ソフト発売に伴う開発費の増加などにより営業利益は39億42百万円(前年同期比29.3%減)となり、経常利益は為替差損の発生などにより28億80百万円(前年同期比47.4%減)、中間純利益は17億84百万円(前

年同期比39.9%減)となりました。

なお、中間配当につきましては、1株当たり15円とさせていただきます。

今後の見通しといたしましては、当業界は高性能携帯電話や多機能情報端末等の新たなプラットフォームの登場、普及が進む情勢下、ソーシャルゲームの存在感が高まるとともに、新勢力の台頭で配信市場が拡大するものと思われれます。また、デジタル化の流れが促進される中、顧客ニーズの多様化によりパッケージソフトの成長が鈍化するなど、ゲーム専用機の競争環境は厳しくなっており、構造的な転換が進むことも予想されます。

他方、身振り手振りで操作ができる趣向を凝らした体感型ゲーム機の発売や専用の眼鏡がなくても裸眼で立体画像のゲームが楽しめる携帯型ゲーム機の投入が予定されるなど、市場活性化に向けて新たな動きが出てまいりました。

市場環境が急速に変化する状況のもと、当社はグローバルな事業展開を加速させる一環として、海外ユーザーの嗜好に適合した訴求ソフトを開発するため、現地法人を通じてカナダのゲーム開発会社ブルー・キャッスル・ゲームズ社(現 カプコン・ゲーム・スタジオ・バンクーバー社)を買収するなど、積極的に布石を打つことにより海外でのアドバンテージを確保してまいります。また、既存市場が飽和する環境下、新たな事業領域を開拓するため、近年勢いを増しているソーシャルゲーム向け配信にも注力するなど、ゲームソフト供給構造の多様化を図ってまいります。

加えて、二大格闘ゲームである当社の「ストリートファイ

ター」と株式会社バンダイナムコゲームスの「鉄拳」双方の人気キャラクターが共演するコラボレーションゲームを競合会社の枠を超えて、両社がそれぞれ開発、販売することにより相乗効果を創出し、ウィンウィン(双方に利益がある状態)の関係を築いてまいります。

さらに、収益構造の再構築を図るため開発の外部委託を増大し、開発コストや開発期間の削減を推し進めてまいります。

下期は、「東京ゲームショウ2010」で耳目を集めた目玉タイトル「モンスターハンターポータブル 3rd」(プレイステーション・ポータブル用)を投入するほか、海外で強みを発揮しているシリーズ最新作「マーヴル VS. カプコン 3」(プレイステーション 3、Xbox 360用)の発売などにより巻き返しをかけてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

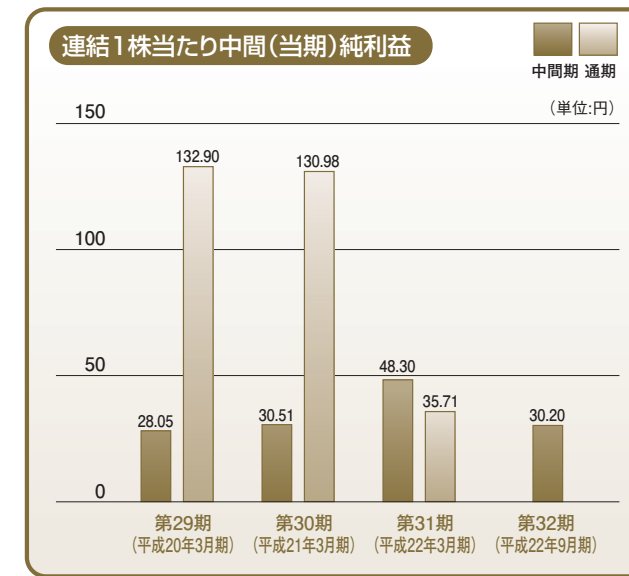
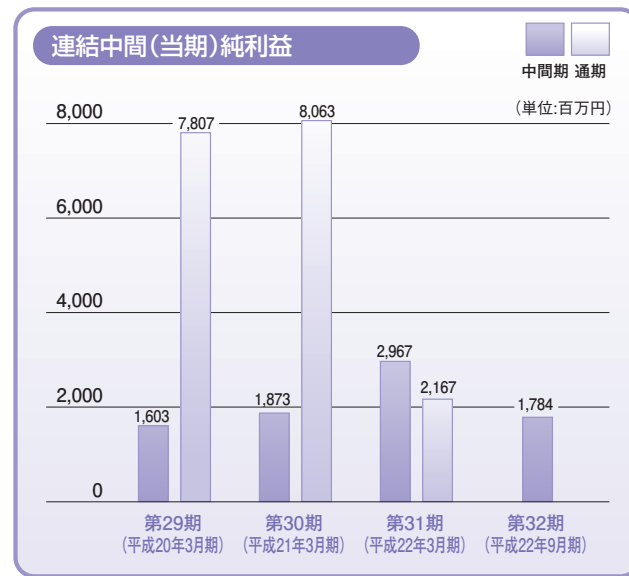
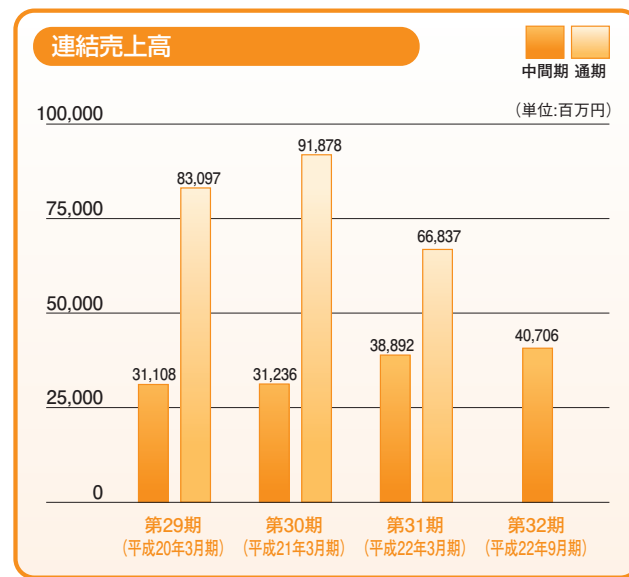
平成22年11月

代表取締役会長
最高経営責任者(CEO)

辻本憲三

代表取締役社長
最高執行責任者(COO)

辻本春弘



● コンシューマ・オンラインゲーム部門

主カタイトルの「デッドライジング2」(プレイステーション 3、Xbox 360用)を9月に発売いたしました。

また、「スーパーストリートファイターIV」(プレイステーション 3、Xbox 360用)や「戦国BASARA3」(プレイステーション 3、Wii用)に加え、オンライン専用ゲーム「モンスターハンター フロンティア オンライン」(パソコン用、Xbox 360用)が堅調に推移したほか、「モンスターハンター」シリーズの派生ソフト「モンハン日記 ぼかぼかアイルー村」(プレイステーション・ポータブル用)も人気キャラクターの「アイルー」がユーザーを魅了するなど、スマッシュヒットを放ちました。

しかしながら、目玉タイトルの「ロスト プラネット 2」(プレイステーション 3、Xbox 360用)が大幅に計画を下回ったほか、「デッドライジング2」(プレイステーション 3、Xbox 360用)の投入遅れが重なったことにより弱含みに展開いたしました。

この結果、売上高は307億73百万円となり、営業利益は大型タイトルの開発費増大による収益の圧迫により45億30百万円となりました。



「モンハン日記 ぼかぼかアイルー村」(プレイステーション・ポータブル用)

「モンスターハンター」シリーズの人気キャラクター「アイルー」を中心に自由な生活を楽しむシミュレーションゲーム。ほのぼのとした世界観や表情豊かな「アイルー」のキャラクター性に加え、シリーズ未経験者にも分かりやすく手軽に楽しめる操作方法などが話題を呼び、従来のシリーズファンほか、女性を中心とした新規ユーザーを獲得しております。



「スーパーストリートファイターIV」(プレイステーション 3、Xbox 360用)

全世界でシリーズ累計2,900万本の出荷。対戦格闘ゲームというジャンルを確立するなど、一世を風靡した「ストリートファイター」シリーズの最新作。

● モバイルコンテンツ部門

携帯電話との親和性が高いソーシャルゲームが急成長する環境下、事業領域の拡大を図るためアイパッド向けに配信を開始した「バイオハザード 4 アイパッド エディション」のダウンロード数が増加したほか、携帯電話用交流サイト「モバゲータウン」向けに配信した「モンハン日記 モバイルアイルー村」も会員数が50万人を突破するなど、多様な新規ユーザーを獲得いたしました。また、 아이폰 / アイポッド・タッチ向けに「魔界村騎士列伝II」を提供するとともに、前期に投入した「ストリートファイターIV」や「逆転裁判-蘇る逆転-」も計画どおり推移いたしました。

この結果、売上高は13億65百万円、営業利益3億円となりました。



「バイオハザード 4 アイパッド エディション」(アイパッド用)

家庭用ゲームでは、全世界でシリーズ累計4,400万本を出荷した看板タイトル。アイパッド向けに新たに「バイオハザード 4 アイパッド エディション」の配信を開始いたしました。鮮明な画像や大画面で臨場感ある映像が体感できるなどアイパッドならではの醍醐味を堪能することができます。

● アミューズメント施設部門

多彩なイベント開催や店舗のリニューアル、サービスデーの実施など周辺住民に愛される地域密着型の施設展開により、女性、ファミリー客の取り込みやリピーターの確保に努めるとともに、投資抑制やコストの削減など、市場環境に対応した効率的な店舗運営により収益力アップに取り組んでまいりました。

上期は不採算店1店舗を閉鎖いたしましたので、施設数は37店舗となりました。

この結果、売上高は59億16百万円と減収になりましたが、営業利益は収益改善策が奏効したことにより7億32百万円と増益になりました。



「プラサカプコン吉祥寺店」

今年の6月にリニューアルオープン。デザインコンセプトである「ニューヨーク」の雰囲気はそのままに、キョートでポップな写真やグラフィックを採用しました。都内人気スポットベスト5に必ずランクインする吉祥寺で最大級のアミューズメントスペースとして、人気を集めています。

● アミューズメント機器部門

業務用機器は施設オペレーターの購買力低下など市場停滞気味の環境下、需要の掘り起こしや新規顧客の開拓に努めましたものの、新商品の投入がなかったことによる商材不足の影響は避けられず、低調裡に終始いたしました。

一方、遊技機向け関連機器は、リピートタイトルの「新鬼武者」が息の長い売行きを示しました。

この結果、売上高は14億6百万円、営業利益19百万円となりました。



「新鬼武者」(パチスロ機)

平成18年に発売された戦国サバイバルアクション「新鬼武者」をパチスロ機向けに発売いたしました。

● その他部門

主なものはキャラクター関連のライセンス事業で、売上高は12億44百万円、営業利益2億27百万円となりました。



©CAPCOM CO., LTD. 2010 ALL RIGHTS RESERVED.
 ©CAPCOM U.S.A., INC. 2010 ALL RIGHTS RESERVED.
 ©CAPCOM 2010
 ©CAPCOM CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.
 ©SAMMY ©RODEO

中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	期別	当中間期 (平成22年9月30日現在)	前中間期 (平成21年9月30日現在)	前期 (平成22年3月31日現在)	科目	期別	当中間期 (平成22年9月30日現在)	前中間期 (平成21年9月30日現在)	前期 (平成22年3月31日現在)
【資産の部】					【負債の部】				
流動資産		65,462	64,123	61,303	流動負債		26,991	24,695	25,211
現金および預金		33,454	37,351	29,865	支払手形および買掛金		4,611	2,682	3,477
受取手形および売掛金		9,601	3,240	6,288	短期借入金		13,211	10,711	13,211
たな卸資産		2,979	5,526	2,731	1年内償還予定の新株予約権付社債		-	285	-
ゲームソフト仕掛品		12,055	13,135	14,333	賞与引当金		429	963	1,318
繰延税金資産		3,197	2,658	3,204	その他		8,738	10,053	7,204
その他		4,218	2,447	4,927	固定負債		10,520	7,859	7,453
貸倒引当金	△	45	△ 237	△ 48	長期借入金		7,000	4,711	4,355
固定資産		24,946	25,978	25,318	その他		3,520	3,147	3,097
有形固定資産		14,128	14,624	14,049	負債合計		37,511	32,555	32,665
建物および構築物		5,553	5,323	5,259	【純資産の部】				
アミューズメント施設機器		2,109	2,497	2,251	株主資本		59,290	62,604	58,689
建設仮勘定		0	287	305	資本金		33,239	33,096	33,239
その他		6,464	6,515	6,233	資本剰余金		21,328	21,186	21,328
無形固定資産		3,435	3,381	3,227	利益剰余金		17,864	19,041	17,262
投資その他の資産		7,382	7,973	8,040	自己株式	△	△ 13,141	△ 10,719	△ 13,141
投資有価証券		596	946	957	評価・換算差額等	△	△ 6,393	△ 5,057	△ 4,732
繰延税金資産		1,596	1,089	1,339	その他有価証券評価差額金	△	△ 88	4	19
その他		6,209	6,977	6,763	その他	△	△ 6,305	△ 5,062	△ 4,752
貸倒引当金	△	△ 1,020	△ 1,040	△ 1,019	純資産合計		52,897	57,546	53,956
資産合計		90,408	90,102	86,621	負債純資産合計		90,408	90,102	86,621

POINT 資産の部

流動資産は、受取手形および売掛金の増加などにより、前期末に比べ41億58百万円増加し、654億62百万円となりました。
固定資産は、投資有価証券の減少などにより、前期末に比べ3億71百万円減少し、249億46百万円となりました。
この結果、資産合計は前期末に比べ37億86百万円(4.4%増)増加し、904億8百万円となりました。

POINT 負債の部

流動負債は、支払手形および買掛金の増加などにより、前期末に比べ17億79百万円増加し、269億91百万円となりました。
固定負債は、長期借入金の増加などにより、前期末に比べ30億66百万円増加し、105億20百万円となりました。
この結果、負債合計は前期末に比べ48億46百万円(14.8%増)増加し、375億11百万円となりました。

POINT 純資産の部

純資産は、利益剰余金の増加があったものの、円高に伴う評価・換算差額等の減算額が増えたことにより、前期末に比べ10億59百万円(2.0%減)減少し、528億97百万円となりました。

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当中間期 (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)	前中間期 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)	前期 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)
売上高		40,706	38,892	66,837
売上原価		26,087	22,981	42,116
売上総利益		14,618	15,911	24,720
販売費および一般管理費		10,675	10,336	19,133
営業利益		3,942	5,574	5,587
営業外収益		158	286	631
受取利息および配当金		108	160	438
その他		49	126	193
営業外費用		1,220	384	687
支払利息		78	88	165
その他		1,141	295	522
経常利益		2,880	5,476	5,530
特別利益		2	17	233
特別損失		478	23	4,639
税金等調整前中間(当期)純利益		2,404	5,470	1,124
法人税、住民税および事業税		784	2,284	1,299
過年度法人税等		-	-	△ 1,761
法人税等調整額	△	△ 163	219	△ 582
中間(当期)純利益		1,784	2,967	2,167

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当中間期 (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)	前中間期 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)	前期 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー		5,420	19,946	14,320
投資活動によるキャッシュ・フロー	△	△ 605	△ 867	△ 1,618
財務活動によるキャッシュ・フロー		1,163	△ 9,199	△ 10,747
現金および現金同等物に係る換算差額	△	△ 2,338	△ 1,191	△ 751
現金および現金同等物の増減額		3,639	8,687	1,203
現金および現金同等物の期首残高		29,815	28,611	28,611
新規連結に伴う現金および現金同等物の増加額		-	-	-
現金および現金同等物の中間期末(期末)残高		33,454	37,299	29,815

POINT 売上高

主力部門であるコンシューマ・オンラインゲーム部門が堅調に推移した結果、407億6百万円(前年同期比4.7%増)となりました。

POINT 営業利益

大型ソフト発売に伴う開発費の増加などにより、39億42百万円(前年同期比29.3%減)となりました。

POINT 中間純利益

営業利益の減少に加え、円高の影響により為替差損が発生した結果、17億84百万円(前年同期比39.9%減)となりました。

- 発行可能株式総数 150,000,000株
- 発行済株式の総数 67,723,244株
- 株主数 22,432名
- 大株主(上位10名)

株主名	持株数 千株	持株比率 %
有限会社クロスロード	6,771	11.46
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,688	7.94
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,019	6.80
辻本憲三	2,006	3.40
辻本美之	1,669	2.83
辻本春弘	1,546	2.62
辻本良三	1,545	2.62
UBS SECURITIES LLC-HFS C U S T O M E R SEGREGATED ACCOUNT	1,366	2.31
ガバメント オブ シンガポール インベストメント コーポレーション ピー リ ミ テ ッ ド	1,357	2.30
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,071	1.81

(注)持株比率については、自己株式数(8,636千株)を控除して算出しております。

- 取締役および監査役
- | | |
|-------------------------|------|
| 代表取締役会長
最高経営責任者(CEO) | 辻本憲三 |
| 代表取締役社長
最高執行責任者(COO) | 辻本春弘 |
| 取締役 | 初野純孝 |
| 取締役 | 飛澤宏 |
| 取締役 | 阿部和彦 |
| 取締役
最高財務責任者(CFO) | 小田民雄 |
| 取締役 | 保田博 |
| 取締役 | 松尾真 |
| 取締役 | 守永孝之 |
| 監査役(常勤) | 山口省二 |
| 監査役(常勤) | 平尾一氏 |
| 監査役 | 家近正直 |
| 監査役 | 滝藤浩二 |

(注) 1. 取締役 保田 博、松尾 真および守永孝之の各氏は、社外取締役であります。
2. 監査役 山口省二および滝藤浩二の両氏は、社外監査役であります。
3. 取締役 保田 博および監査役 山口省二の両氏は、株式会社東京証券取引所および株式会社大阪証券取引所の定める独立役員であります。

- カプコンIRサイトのご案内 <http://www.capcom.co.jp/ir/>
- 当社では、株主や投資家の皆様に最新情報をタイムリーに提供することを目的として、ホームページを活用したIR活動にも注力しております。
カプコンIRサイトでは、株式情報や経営戦略に加え、開発者インタビューや、アナリストコンセンサスなど様々な情報提供を行っております。

当社IRサイトは、情報の充実度や使いやすさにおいて各評価機関より高い評価をいただいております。



最新情報

いま注目すべきIR情報を大きく中央に表示していることに加え、新着情報やプレスリリースなどの最新情報を素早く確認できるシステム(RSS)にも対応しております。

事業戦略・データ

当社が展開する各事業の市場環境や今後の戦略を、グラフやテキストを用いて詳細にご説明するとともに、当社の人気ソフトの販売本数などを豊富な画像、動画を用いてわかりやすく掲載しております。

個人投資家の皆様へ

当社をより深くご理解いただけるよう「当社の強み」や「市場動向」などをわかりやすくご説明しております。

カプコンIRメール

メールアドレスをご登録いただきますと、プレスリリースや決算資料などの最新情報をメールにてお知らせいたします。

『アニュアルレポート2010』発行

経営トップ自らが、中長期課題に対する具体的施策をQ&A方式にて明快に解説しております。また今後の事業戦略について、成長分野であるオンライン事業への取り組みや強みである多メディア展開の更なる強化など、安定成長に向けた様々な取り組みを詳解しており、投資家の皆様により理解を深めていただくため内容の充実を図っております。

ご希望の方は当社広報・IR室までお問い合わせいただくか、当社IRサイトの資料請求フォームをご利用ください。

株式会社カプコン 広報・IR室 電話06-6920-3623

携帯からもIR情報へアクセス <http://2mobile.jp/9697/>

当社の業績概況や株式情報が携帯電話から閲覧できるほか、株価の終値や最新のリリース情報も取得できます。QRコード(二次元コード)の読み取りに対応した携帯電話をお持ちの方は右の画像を読み込むと簡単にアクセスできます。



※読み取り方法についてはお手持ちの携帯電話取扱説明書をご覧ください。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

期末配当金受領株主
確定日 3月31日

中間配当金受領株主
確定日 9月30日

単元株式数 100株

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同 連 絡 先 〒541-8502

大阪市中央区伏見町三丁目6番3号

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

電話(通話料無料)0120-094-777

公 告 方 法 電子公告

当社のホームページ(<http://www.capcom.co.jp/>)に
掲載します。

ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告を
することができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

上場金融商品取引所 株式会社東京証券取引所・株式会社大阪証券取引所

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則として株主様が口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、同行にお問い合わせください。
なお、同行全国各支店においてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。